

彼を想ひ、此を考ふる時、莫個意義あり組織あり、
 生命あり、光彩ある日本船員統一の事業を完成
 するの、最も時宜に適せる舉措たるを確真せざるば
 ならず。即ち理義と實質とに出發せる一校船員
 の糾合を庶幾し、其の基礎を鞏固にし、其の行動を
 穩健にし、以て溫和協調を眼目とせる主義綱領に
 準據し、日本船員の品性の向上と生活の安定點を
 期し、海運事業の堅實と其の隆盛とに策應せし
 事を欲す、これ實に吾人が眷々り赤情にし、
 敢て海洋勞資協會を設立したる所以に外な
 らざる也。冀台諸君、幸に吾人が志を諒とし、俱に日
 本海運界革新發展の大業に向つて奮起せられん事を。

綱領

- 一 本會は帝國海運の發達を期し國威國權の宣揚に努む
- 一 本會は相互の福祉増進の爲め勞資の協調に意ん
し恒久的平和を欲求す、
- 一 本會は海員の品性向上、智識の啓發、技術の進歩
を圖り、相愛扶助以て其の本分を盡さん事を期す。